

一 次の文章（『しきり』の文化論』柏木 博）を読み、後の問いに答えなさい。

「これは1わたしのものだ。」という表現は、わたしがいなければ成り立たない。わたしがいることで、わたしと2それ以外のものとの間に境界線（しきり）をつくることになる。そうなってくると、結局、わたしとは一体あるのかどうかという問いがそこにはかかわってくる。この問いは、おそらく近代的なA主体や存在といった問題とかかわっている。しかし、他方では、近代的主体や存在といった問題に向かう前に、わたしたちは、「わたし」や「わたしのもの」の存在をそれとなく受け入れている。いったいその感覚はどこからやってくるのだろうか。

ひとつは、わたしがわたしであることを、3固有の名前をもっていることで、素朴ではあるが、それとなく感じているのではないか。もちろん、名前は自分で自分に与えるのではなく（ペンネームなどはその限りではないが）他人（一般的には親）が与える。他者が、わたしをいわば社会の中に位置づけたということなのだろう。親は子どもに名付けることで、その子を自分のものにする。外界に名前を与えることで、わたしたちはそれを（X）しようとしてきた。

（中略）

言葉によって「わたし」の世界を組織し、B外界との境界をしきっているように、わたしたちは、ものによって同様のことを行っている。だから、（注1）プリミティブな思考や感覚の中では、言葉がものや現実と不可分であるように、4ものは持ち主と不可分であるように思えるのである。形見分けというのは、ものそのものではなく、それを所有していた（それによってわたくしの世界を組織していた）人の一部を引き継ぐことを意味している。かつて、家を引き継ぐというのは、単に住宅やその中に置かれた家財を相続することではなく、「家」を引き継ぐことを意味していた。

そのように考えると、わたしたちが抱いているものへの欲望は、単純な物質への欲望もあるが、自らの世界を組織する言葉への欲望と相同的なものがあるように思える。すると、「わたしのもの」を持つことへの欲望は、わたしを組織することにかかわっているからこそ、5それを消すことが困難なかもしれない。それを消すことの苦痛は、わたしたちが言葉によって自分の周りに組織した世界を失うことへの苦痛と似ている。

たとえば、古代から、強大な権力をもつ者が膨大な私有物を集め、それに強く執着してきたのは、「わたしのもの」を巨大化することによって、わたしの世界をゆるぎないものにしようとする欲望があったからだろう。強大なC領土や建造物としてものが「わたし」を信じさせてくれるのだろう。そして、時として、6「わたし」の世界が広がるためには、「あなた」の世界は消滅してもいいという欲望が暴力を生み出してきた。

「わたしのもの」というしきりが、わたしと他者とのD差異や境界あるいは壁をプリミティブな私たちで認識させているのである。これは、7近代的な主体概念やプライバシー概念よりもずっと手前にある感覚のように思える。

問一 傍線1「わたしのもの」とほぼ同義で用いられている表現を、本文中から抜き出しなさい。
問二 傍線2「それ以外のもの」とほぼ同義で用いられている表現を、傍線A～Dから一つ選び、記号で答えなさい。

問三 傍線3「固有の名前をもっていること」は何を保証するのか、最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。
ア 他人にはない独特の才能を持ち合わせた人物であるということ。
イ 常に他者に愛される存在であるということ。
ウ 確たる存在として社会の中に位置づけられているということ。
エ 恵まれた環境で育った人物であるということ。
オ 他者に頼ることなく独立した生活を送っているということ。

問四 空欄Xに入れる語として適切な二字の熟語を本文中から抜き出しなさい。

問五 傍線4「ものは持ち主と不可分である」の具体例を、二つ(四字、六字)本文中から抜き出しなさい。

問六 「不可分」「概念」の意味を、それぞれ選び、記号で答えなさい。
不可分 ア 同じ意味にならない イ 理解が及ばない ウ わけることができない
概念 ア 基本的な立場 イ おおまかな意味内容 ウ 独自の考え

問七 傍線5「それ」が指している語を本文中から漢字二字で抜き出しなさい。

問八 傍線6『『わたし』の世界』は、筆者によれば何と何によって組織されるのか。本文中より二字で二つ抜き出しなさい。

問九 傍線7とほぼ同様の内容を述べている部分を本文中より探し、最初と最後の三字を抜き出しなさい。(句読点は含まない)

二 次の空欄にあてはまる言葉を後の語群の中の語をそれぞれ一回ずつ使って、漢字で記しなさい。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 思わぬ()に驚いた。 | 2 解決は極めて()だ。 |
| 3 汚れた()を着替える。 | 4 奈良東大寺の()な建造物。 |
| 5 家族()の思い出の写真。 | 6 実験の()を喜ぶ。 |

せいこう いふく りよこう てんかい こんなん きよだい

三 次の文の傍線の部分を漢字に直しなさい。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1 手をうって喜ぶ。 | 2 敵をうち取る。 | 3 猟銃で獣をうつ。 |
| 4 期待で胸がおどる。 | 5 ダンスをおどる。 | |

「令和三年度一般入校試験（前期） 国語 解答用紙」

受験番号		氏名		得点	
------	--	----	--	----	--

一

問一

--

問二

--

問三

--

問四

--

問五

問六 不可分

--

概念

--

問七

--

問八

--

--

問九

）

二

1

2

3

4

5

6

三

1

--

2

--

3

--

4

--

5

--

数 学 I 問 題 用 紙

1 次を計算せよ。

(1) $(\sqrt{2} + 1)^2 =$

(2) $\frac{3\sqrt{5}}{2} + \frac{5}{\sqrt{20}} =$

2 次の方程式を解け。

(1) $2x^2 - 3x - 2 = 0$

(2) $x^3 - 5x^2 + 6x = 0$

3 2次関数 $y = x^2 - 2x - 3$ のグラフ（放物線）について次の問いに答えよ。

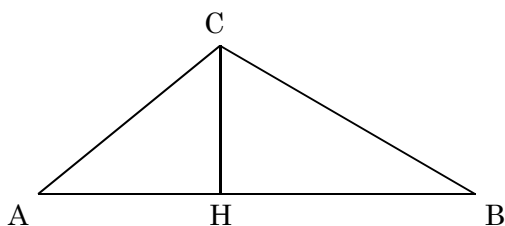
(1) この放物線と y 軸との交点の座標を求めよ。

(2) この放物線と x 軸との交点の座標を求めよ。

(3) この放物線の頂点の座標を求めよ。

4 $\triangle ABC$ において $\angle CAB = 45^\circ$, $\angle ACB = 105^\circ$, $BC = 3\sqrt{2}$ であるとき次の問いに答えよ。

(1) 辺 AC の長さを求めよ。



(2) 点 C から辺 AB に垂線を下ろしその足を H とするとき垂線 CH の長さを求めよ。

(3) 辺 AH の長さを求めよ。

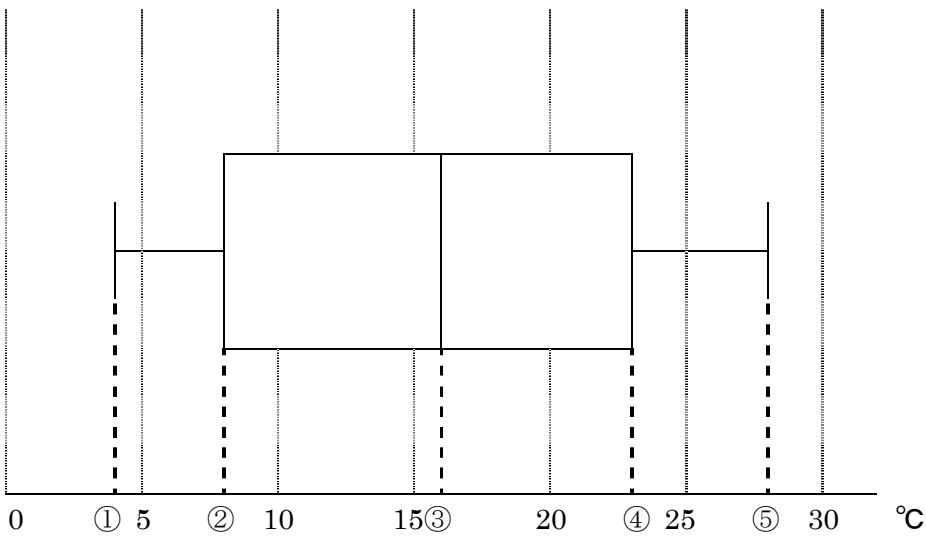
(4) 辺 BH の長さを求めよ。

(5) $\triangle ABC$ の面積を求めよ。

5 以下は 2019 年前橋市の月ごとの平均気温と、そのデータを箱ひげ図で表したものである。

(気象庁 Web ページ「過去の気象データ」より)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
°C	4.0	5.8	9.0	12.8	20.2	21.7	24.3	28.4	24.6	18.9	11.8	7.0



このデータの 5 数要約 (①最小値②第 1 四分位数③第 2 四分位数④第 3 四分位数⑤最大値) を求めよ。

数 学 I 解 答 用 紙

受験番号	氏 名	得 点

1

(1)	
(2)	

2

(1)	
(2)	

3

(1)	y 軸との交点の座標 (,)
(2)	x 軸との交点の座標 (,), (,)
(3)	頂点の座標 (,)

4

(1)	AC=
(2)	CH=
(3)	AH=
(4)	BH=
(5)	$\triangle ABC$ =

5

①最小値	(°C)
②第1四分位数	(°C)
③第2四分位数	(°C)
④第3四分位数	(°C)
⑤最大値	(°C)